

9 目白地域

学習院正門



1 地域の特徴

(1) 位置

区の南部に位置する目白1丁目から5丁目、西池袋2丁目の区域です。南東側は高田地域、東側は雑司が谷地域、北側は池袋東地域、池袋西地域、西側は南長崎地域、南側は新宿区に接しています。

(2) 市街地の変遷

江戸時代、下高田村の北西側や雑司谷村の西端にあたる畑を中心とした農村地帯でした。天保7（1836）年、現在の目白3、4丁目を中心とする約3万坪の広大な敷地に雑司が谷感応寺が建立されましたが、5年後の天保12（1841）年に廃寺となりました。現在、その一部に徳川黎明会が設立されています。

明治18（1885）年に目白駅が開設され、駅前の現目白通り沿いを中心に住宅が増えていきます。さらに、大正4（1915）年に武蔵野鉄道（現西武池袋線）が開通し、大正13（1924）年に椎名町駅、昭和4（1929）年には上り屋敷駅（昭和20（1945）年廃止）の開設によって、宅地化に拍車がかかります。

また、明治41（1908）年に学習院が四谷から移転し、大正10（1921）年に自由学園が創立され、大正13年には川村女学院（現川村学園）が開校します。

その後、戦災による被害を受けましたが、戦後、現在とほぼ同じ市街地が形成されていきました。

図表5-78
目白通り（昭和15（1940）年頃）



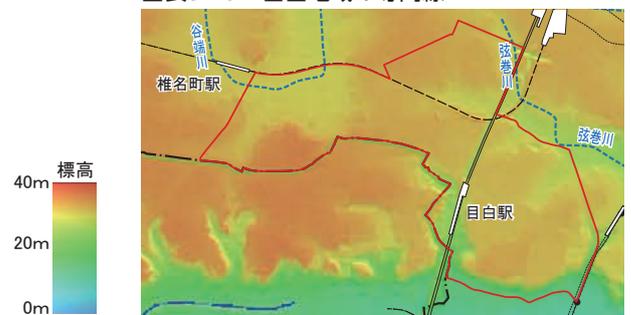
資料：写真にみる豊島60年のあゆみ展より転載

(3) 主な景観要素

①地形・自然

- 目白駅周辺では、地形の緩やかな変化がみられます。
- みどりの拠点である学習院には、人為的な影響が少なく、自然状態を保ったスタジイやムクノキの林が残されています。
- 目白庭園や目白の森、明治通り・目白通りの

図表5-79 目白地域の等高線



資料：基盤地図情報数値標高モデル（国土地理院）をもとに作成

イチョウ並木などによって、みどり豊かな街並みが形成されています。

②歴史・文化

- 学習院や川村学園、自由学園明日館などの教育・文化施設が集積しています。
- 学習院の正門や北別館、東別館、厩舎、乃木館、西一号館、南一号館は、国登録有形文化財に指定されています。
- アメリカ人建築家フランク・ロイド・ライト²³の設計による自由学園明日館（国指定重要有形文化財）は、国外からも人々が訪れる貴重な建築物として保存されています。
- 目白庭園や切手の博物館、尾張徳川家の美術品等を管理する徳川黎明会など、歴史や文化を感じられる施設があります。

③まち・界隈

- 目白駅周辺は、商業・業務機能とともに、教育・文化施設が集積しています。
- 区内でも敷地規模が大きく、魅力ある街並みを形成する低層住宅地が広がっています。
- 立て替えられみどり豊かな目白小学校にあわせて、周辺地区のまちづくりが進められています。

④人々が織りなす魅力

- 地域の人々が小路や坂道などに名前を付け、新たな魅力づくりに取り組んでいます。
- 地域の企業などによって、学習院椿の坂の維持・管理が行われています。

図表5-80 学習院のみどり（北別館）



図表5-81 目白通り



図表5-82 学習院椿の坂



2 景観まちづくりの視点

- 学習院や目白の森、低層住宅地などのみどりによって、ゆとりと潤いに包まれた街並みづくりが必要です。
- 学習院や自由学園明日館などの建築物を生かして、歴史や文化を感じられる景観形成が必要です。
- 文教地区の落ち着いた雰囲気や洒落た雰囲気を地域の個性として、人々を惹きつける景観まちづくりが必要です。

23 フランク・ロイド・ライト：21ページ参照

3 景観まちづくり方針

1 ゆとりと潤いを創出する

- 学習院の自然のままのみどりを保全し、潤いと安らぎが広がる景観形成に取り組みます。
- 目白庭園や目白の森などのみどりを生かし、四季の変化を感じられる街並みをめざします。

2 歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する

- 学習院の歴史を伝える貴重な建築物を生かし、周辺地区での魅力ある景観の創出をめざします。
- 自由学園明日館は、歴史的な建築物として保存・活用するとともに、あわせて周辺地区での景観まちづくりに取り組み、魅力を高めていきます。

3 人々の生活・営みを映す

- 目白駅周辺は、区内外から人々が集まる交流拠点として、洒落た雰囲気が感じられる街並みを創出します。
- 学習院や川村学園などの学生でにぎわう雰囲気を大切な風景として育みます。
- 個性的なショップや洒落たカフェなどが並び、落ち着いた雰囲気を楽しめる景観をめざします。

4 地域の特性を惹き立てる

- 環状5の1号線や山手通り沿道などは、みどりの潤いを感じられる安全で快適な歩行者空間を形成します。
- 目白2丁目から5丁目の低層住宅地は、みどり豊かで落ち着きのある街並みを維持・保全し、ゆとりと潤いを感じられる住環境を形成します。

5 個性ある街並みを創出し、楽しめる仕組みを構築する

- 地域資源の名付けや緑化の取り組み、洒落たショップなどと連携し、個性ある街並みを楽しめる景観まちづくりを進めます。

図表 5-83 目白庭園



図表 5-84 自由学園明日館



図表5-85 JR目白駅

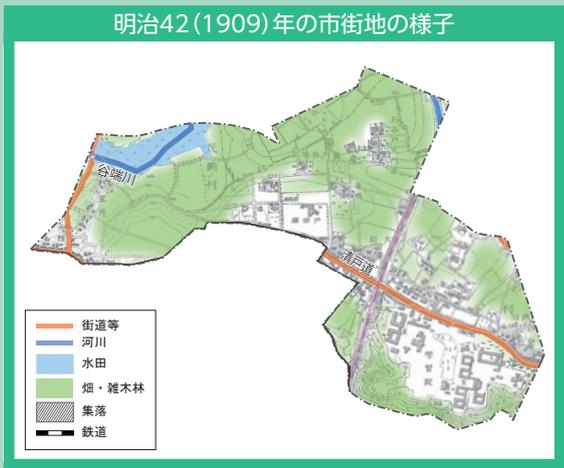


図表5-86 みどり豊かな低層住宅地



画像提供：柴田いづみ

図表 5-87 目白地域の景観まちづくり方針図



出典：豊島区地域地図第四集 2011、豊島区史跡めぐり

凡例

	ゆとりと潤いを創造する		鉄道駅周辺
	歴史を受け継ぎ、新たな文化を創造する		みどりの骨格軸
	人々の生活・営みを映す		みどりの回廊(幹線道路)
	地域の特性を惹き立てる		みどりの回廊(街路樹)
	個性ある街並みを創造し、 楽しめる仕組みを構築する (全域)		鉄道(JR)
	坂		鉄道(東武・西武)
	寺社		都電
	花の名所		都市計画道路未着手区間
	大学		
	教育施設		
	祭り		
	文化資源		
	新たな文化拠点		
	旧道		
	旧河川		
	神田川		
	公園など		